

平成 23 年度 学校評価（自己評価）

I. はじめに

学校における最も重要な項目は、**園児の育ち**と、その為には**先生の資質の向上**にあると考える。それ故、平成 20 年度は、大きくはその 2 点に絞り、学校評価を行った。
平成 21 年度は、**全保護者にアンケートを実施**し、その結果を基に学校評価を行った。
平成 22 年度は、健康管理などの**保健衛生面**・園児の**基礎体力の養成**・**安全対策** 等の項目について学校評価を行った。
本 23 年度は、授業参観と誕生会と個人懇談会・子育て支援（教育講演、預かり保育、就園前 2 歳児の芽生え教室）・お母さんのサークル活動 について、学校評価を行う。

II. 本園の教育目標の確認

優しく そして たくましく （健やかに 豊かに 賢く）

「ここは一発やるぞ！！」という強い精神力と共に、優しい心を育てたい。

- 知識の伝達のみでなく、次の世代に日本の文化を伝え人間としての心を育てたい。
具体的には、次のような人間としての骨太な面を育てたく思っている。
 - ・ 基本的な生活習慣を身につける
 - ・ 「ありがとうございます」「おはようございます」などの挨拶がスーッと出る
 - ・ お年寄りや小さい子に、ごく自然に優しく接することが出来る
 - ・ 周りの人と会話ができ、大勢の中でも自分の意見を発表できる
 - ・ やる気満々である
 - ・ 我慢することができ、物事に対する耐性がある
 - ・ 「やる時はやる 遊ぶ時は遊ぶ」などのけじめ・切り替えが出来る
 - ・ 静と動、善と悪のけじめをつけることが出来る
- 個々の領域の目標については省略する。

III. 評価項目と 取り組み状況・達成度などの評価

評価項目

取り組み状況や達成度などの評価

- ① 授業参観と
誕生会と
個人懇談会

保護者が子供の幼稚園での普段の様子を参観出来る機会として、年に 4 回の授業参観と誕生会を実施している。

● 授業参観

最初の参観は、5 月の中旬に実施している。

特に 3 歳の新入園児の保護者にとっては、驚愕の参観といえる。入園時に泣いていた我が子が、しっかりと椅子に座り、先生の話聞き、また自分の思いを発表する姿に、感動の場となっている。入園して僅か 1 ヶ月、お母さんが安心して自信をもって子育てに向かい合うためにも、5 月中旬というのが非常に意味のあることと評価できる。

4 歳 5 歳の進級児にとっても、年中・年長と 1 年大きくなった誇りや精神的な内面の成長が感じられる参観であると評価している。

その後は7月に参観がある。

また2学期は、運動会や生活発表会という大きい行事があるので、9月末に参観を実施している。

3学期の2月には、最後の参観がある。参観後の教室では、1年間の成長を喜び合って、保護者と先生の間で話が展開される。尚、授業参観後に教育講演会があるが、②子育て支援の稿でまとめる。

●誕生会

誕生会はクラス単位で行っている。

1クラスにつき年に4回の誕生会があり、9クラスなので36回開かれる。1回につき8～9人がお祝いされる。

両親はもちろん祖父母も参加され、子供にとっては自分の誕生・成長を家族やお友達など多くの人が願ってくれているということを実感できる場であると評価できる。

単にお祝いするというだけでなく、命の尊さを感じることでできる時間でもある。

誕生会の内容は、3歳4歳5歳の発達段階に応じて組み立てられていると評価している。

●個人懇談会

6月に実施している。

園での様子をお話しすると共に、お母さんから家での様子や子育ての悩みをお聞きすることを大きな目的としている。

②子育て支援

●教育講演

4月の教育懇談会、年に4回の授業参観時と、年5回の教育講演会を開いている。

理事長、園長、その時により色々な先生が、安松幼稚園の考える教育や子供の実態についてプリント配布も含め、約1時間ばかり話をする。保護者からも講演をきっかけに**子育て相談**が多くあり、この講演によって自分自身が育てられ、子育ての道筋が見えてきたと高い評価を得ている。

例えば、安松幼稚園のH.P.の「お母さんからのお便り」の中の

・H22.6～7 教育そのものについて考える…教育は型・基本が大切

・H23.3 本当の先生 等々は、

教育講演に啓発されたお母さんからのお便りである。

教育講演は、保護者の育ちにとっても大いに意義ありと評価している。

●預かり保育（希望者）

- ・放課後
- ・長期休暇中

・従来の放課後の預かり保育

水 12時～17時 月火木金 14時～17時 以外に、今年から夏休み、冬休み中の預かり保育 8時30分～17時 を実施した。

お仕事しているお母さん これから仕事を始めたいお母さん

長い休暇中の子育てを少し一服してリフレッシュしたいお母さん

～働いていたって幼稚園の選択は可能ですよ～

上記の趣旨の下、今年から長期休暇中の預かり保育を実施したが、お母さん（もちろんお父さんも）の子育て支援として、社会のニーズにあった適切なものであったと評価している。

ただ幼稚園の行事等で実施できない日もあり、今後の課題である。

●就園前 2 歳児の
芽生え教室

少子化・核家族化の社会の中、子供どうしの触れ合いが極端に減少している。そういう社会状況の中、子育て支援の一環として就園前 2 歳児の芽生え教室を実施している。

2 歳児どうしの触れ合い、2 歳児と幼稚園児との触れ合いなど、また初めての子育てに悩んでいるお母さんの子育て相談も多くあり、非常に有意義な子育て支援であると評価できる。

③お母さんのサークル活動

お母さんのサークル活動として、

- ・お母さんコーラス と
- ・絵本の会 の二つがある。

お母さんコーラスは原則月 3 回（本番前になると回数が増える）の練習があり、6 月のお楽しみ音楽会・12 月の生活発表会・3 月のひな祭において、園児に美しい歌声を披露している。

絵本の会は、月に 1 回の例会があり、色々な絵本に親しんでいる。

7 月の七夕祭り、12 月の年末、3 月のひな祭 時に、各クラスで、お母さんから園児への絵本の読み聞かせがある。

こういう同好会活動を通じて、幼稚園・お母さん・園児 の三者の関係が親密になり、有意義であると評価している。

IV. 最後に

これら 平成 23 年度 学校評価（自己評価）を、学校関係者委員会に提出し、学校関係者の評価を得たいと考えている。

学校評価の本質であり中心であるべき

- ・園児の育ち
- ・先生の資質を高める園内研修そして研究授業（本年も 20 回の研究授業の実施）等についての評価は、平成 20 年・21 年と同様ですので、そちらをご覧ください。

なお

- ・食事指導
- ・遠足 お楽しみ鍛錬登山 などの園外保育
- ・行事
- ・異なる学年や入園前の芽生えさんとの交流
- ・特別支援教育

等に関する評価は、次年度以降と致します。

平成 23 年度 学校評価（学校関係者評価）

I. 最初に

今回、学校関係者委員会に提出された本 23 年度の学校評価（自己評価）は、今までに取り上げられなかった項目に関してでした。
各項目につき、自己評価が適正であるかどうかの議論をし、学校関係者委員会としての下記の評価に至りました。ここに学校関係者評価を提出致します。

II. 本園の教育目標の確認 の検証

自己評価の記載通りだと、実感しています。
単に教育目標として掲げられているだけでなく、教育の中で実践され、目標に沿った成果を上げてくれている（下さっている）と感じています。一昨年のアンケートにもありましたように、保護者の大多数の声だと思っております。
また地域の小学校においても、安松幼稚園からの入学生は一味も二味も違うということ、先生からもよく耳にします。
そしてそれは、安松幼稚園の年 20 回の研究授業を中心とした園内研修の充実・厳しさから得られる安松幼稚園の先生方のレベルの高さ故であると高く評価します。
在園児や卒園児を観るとき、教育目標を確実に達成されていると評価致します。

III. 評価項目と 取り組み状況・達成度などの評価 の検証

①授業参観と 誕生会と 個人懇談会

記載通りであると評価致します。
授業参観、誕生会、個人懇談会は、子供を仲立ちとして、園の先生方と保護者との交流もその大切な要素であると存じます。
バス通園の保護者は、徒歩通園の保護者に比べて、先生方と接触する機会が少ないのですが、「これらの行事を通じて、子供の姿を見、先生からも話があり、大きな安心をもらえる点でとても有意義である」と感じている保護者が多いということ、付記したいと思います。
授業参観、誕生会、個人懇談会の個々については、学校評価に対して次の点を付記したく存じます。多くの保護者の感想でもあります。
●授業参観
参観の内容は、子供の意見発表が多く取り入れられ、先生と子供達の触れ合いが感じられます。子供の実態にあった教材組み立てと共に、子供の日常の授業時の様子が伺えて安心できます。小学校では、ビデオを長い時間見せられたり、下を向いての作業が延々と続く参観も結構あるのですが……。安松幼稚園の授業参観を高く評価したいと思います。
とくに 5 月の授業参観は、新入园児の多くの保護者にとって、僅か 2 ヶ月でここまでの落ち着きが出るのかとびっくりさせられます。
●誕生会も、大いに感動させられます。
●6 月中旬の個人懇談会でも、僅か 2 ヶ月足らずの間に、子供の様子について、こんなことがありましたと具体的に話してくれます。先生方の個人を観察する眼には驚かされます。

②子育て支援

●教育講演

記載通りであると評価致します。

自己評価で述べられている以上に、教育講演は多くの保護者にとって、自分の子育てを見直し、子育てに対する姿勢を教えられ、また親自身も人としての生き方・有り様まで考えさせられる機会でもあります。

卒園してからも、安松幼稚園の H.P.の理事長エッセイなどで自分の子育てをチェックするお母さんが多くいることをお知らせしたいと思います。

●預かり保育

自己評価の通りと存じます。

昨年の夏休みから、預かり保育（8時30分から17時まで）が始まりましたが、助かっているお母さんはとても多いと思います。

●就園前2歳児の 芽生え教室

自己評価の通りと存じます。

少子化の中、小さい子供同士が遊んでいる風景をほとんど見ることはありません。

核家族化の中、子育てに悩んでいるお母さんが大勢います。

芽生え教室は、これら2点を解決できる教室です。

非常に有意義です。

周りの声を紹介しておきたく存じます。

- ・子供がとても元気になって、周りの人に挨拶が出来るようになりました。
- ・子供に落ち着きが出て、聞く力がつきました。
- ・先生方が、お母さんの子育ての不安・心配・悩み等をとことん聞いてくれるので、多くのお母さんから「安心して子育て相談できて嬉しい」という声を多く聞きます。

③お母さんのサークル活動

自己評価は適切ですが、自己評価以外に次の視点も大切であると感じます。

- ★子育てに没頭するのではなく、サークル活動を通して、お母さんにも余裕・楽しみが生れることが、子育てにもいい影響を与えている。
- ★お母さん同士が親しくなり、一生の友人になる可能性がある。

以上をお伝えしたく思います。

IV. 最後に

自己評価を適切と認めます。

今後も、現在の安松幼稚園の有り様をぶれることなく貫いてほしいと存じます。